平成25年9月2日

関係各位

会社名：三井物産株式会社
代表者名：代表取締役社長　飯島彰己
（コード番号：8031）
本社所在地：東京都千代田区大手町
一丁目２番１号

豪ブラウズLNGプロジェクトの進捗状況

三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：飯島彰己、以下「三井物産」）と三菱商事株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小林健、以下「三菱商事」）がJapan Australia LNG (MIMI Browse) Pty Ltd(以下「MIMI ブラウズ社」)を通じて参画するBrowse Joint Venture（以下「ブラウズJV」）は、ブラウズLNGプロジェクトにおいてShell社のFloating LNG(注1)技術を活用した開発を検討すべく、本年９月より事前基本設計（Pre-FEED(注2)）を行うことを決定しました。

ブラウズ LNG プロジェクトは、豪西オーストラリア州沖合のイースト・ブラウズ及びウェスト・ブラウズの両天然ガス・コンデンセート鉱区を開発し、生産される天然ガス及びコンデンセートを精製･液化･出荷するものです。三井物産及び三菱商事が折半出資するJapan Australia LNG (MIMI) Pty Ltdの100%子会社であるMIMIブラウズ社は両鉱区の権益の16%及び8%を保有し、ブラウズLNGプロジェクトに参画しています。

当初、ブラウズJVは、西オーストラリア州キンバリー地区ジェームス・プライス・ポイント付近での陸上液化プラント建設を前提に、2013年6月末までの最終投資決断を目指していました。しかし、コスト増の影響により当該開発計画の採算性が低下したことから、開発案の見直しを決定し、より最適な開発計画を求めてFloating LNGによる開発を検証することとしたものです。

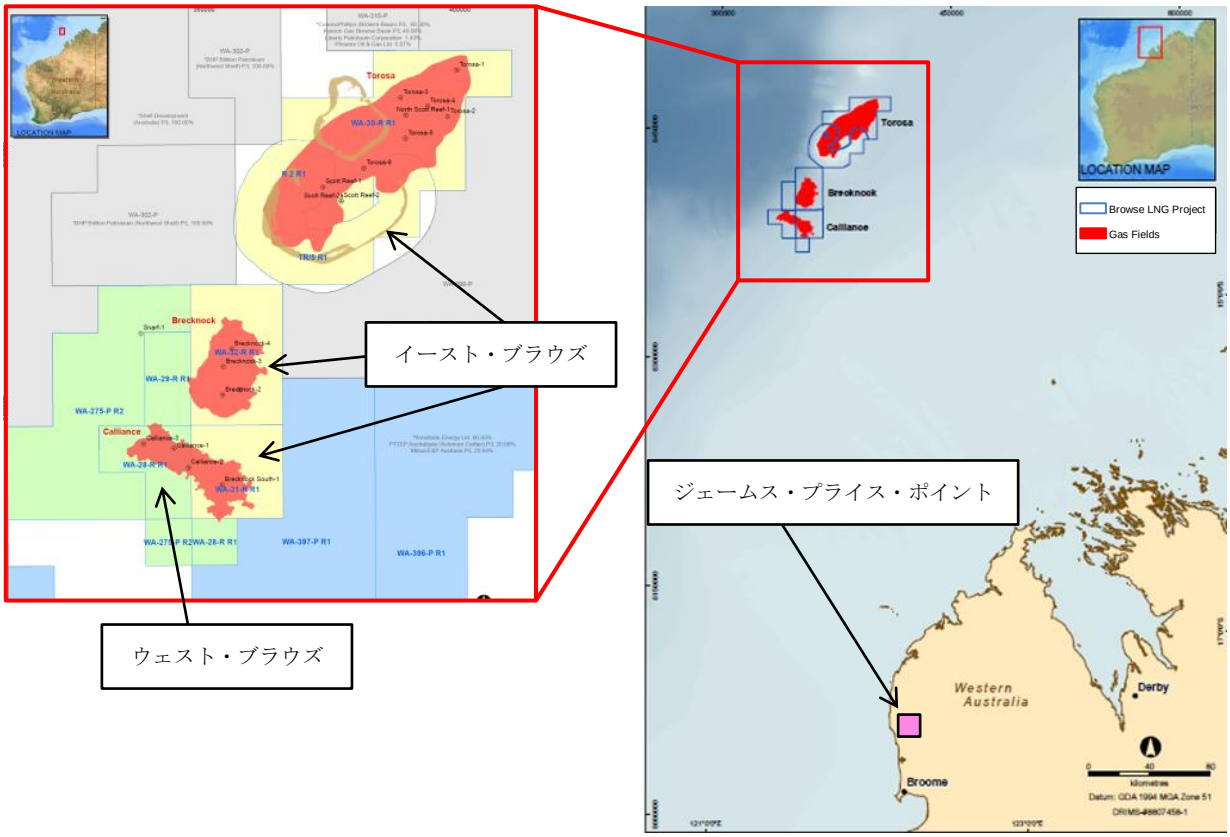
三井物産及び三菱商事は、引き続きMIMIブラウズ社を通じて、ブラウズLNGプロジェクトの早期の最終投資決断及び商業化を目指し、検討を進めていきます。

（注1）LNGタンクを備えた浮体に、天然ガス生産・処理設備とLNG液化・出荷設備を備えた複合生産設備
（注2）Pre-FEED: Preliminary Front End Engineering Design

ブラウズJV権益構成

JV	イースト･ブラウズ	ウェスト･ブラウズ
MIMIブラウズ	16%	8%
Woodside Browse Pty Ltd	34%	17%
Shell Development (Australia) Proprietary Limited	25%	35%
BP Developments Australia Pty. Ltd.	16.67%	20%
PetroChina International Investment (Australia) Pty Ltd	8.33%	20%

地図



本件に関する問合せ先：三井物産（株）
IR 部　　TEL：03（3285）7910
広報部　　TEL：03（3285）7540

ご注意:

本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述は、現時点で当社が入手している情報を踏まえた仮定、予期及び見解に基づくものであり、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包するものです。かかるリスク、不確実性及びその他の要素によって、当社の実際の業績、財政状況またはキャッシュ・フローが、こうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。こうしたリスク、不確実性その他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。また、本発表資料は、上記事実の発表を目的として作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。